

平成 29 年度 事業計画

1 現況及び基本方針

(1) 現況

我が国の経済状況をみると、内閣府の月例経済報告によると「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復傾向が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされている。

こうした中、平成 28 年 6 月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」の高齢者の就労促進において、「生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者の希望を叶えるための就職支援を充実する必要がある。人口が減少する中で我が国の成長力を確保していくためにも、高齢者の就業率を高めしていくことが重要である。」など、シルバー人材センターを通じた高齢人材の活用により、人手不足分野や保育・介護等の分野における現役世代の支え手として活躍できるシルバー事業の重要性がますます増しているとともに、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものとなっている。

このような背景のもとに、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、シルバー人材センターの目指すべき役割を見極めることにより、新たな事業推進の方向性を明らかにするため、平成 29 年 3 月に、平成 33 年度までの 5 年間を対象期間とした第四次基本計画を策定した。

今後は、この第四次基本計画を指針とし、より効率的・効果的な事業運営に努め、会員の確保及び就業の拡大等によるシルバー事業の活性化に取り組むことが求められている。

(2) 基本方針

第四次基本計画において、計画の最終年度である平成 33 年度を目標として、会員数 4,300 人、契約金額 17 億円（請負事業＋労働者派遣事業）、就業率 75% を達成するべく以下の基本計画を定めている。

ア 会員の確保

イ 就業の拡大

- ウ 安全就業・安全管理
- エ 適正就業
- オ 施設・会員を取り巻く環境等の整備
- カ 経営及び事業運営の基盤整備

これらの計画を着実に実施し、シルバー事業の活性化に取り組むにあたって、まず、「シルバー活性化検討会議（仮称）」を設置し、「アクティブシニア」を意識した会員の確保及び就業の拡大などの諸課題に対する方策を検討し、その具体化に向けた取組を推進する。

一方、「会員一人ひとりが広告塔」の合言葉の実践に努めるとともに、広く市民の方々に「広島市シルバー人材センター」を知ってもらい、シルバー事業に対するイメージや認知度の向上を図るため、「キャッチフレーズ」や「愛称」の募集、PR用DVDの作製などのほか、様々な機会を活用したPRに努めるとともに、広島市や関係団体が開催する各種イベントへの参加などに取り組む。

また、新規事業として、現在の社会ニーズに対応するため「親孝行サービス」や「空き家管理サービス」に取り組む、現役世代の下支えを行っていく。

さらに、「ニッポン一億総活躍プラン」の中で、シルバー人材センターを通じた高齢人材の活用例としてあげている保育・介護（総合事業等）の分野などにおける会員の就業に結びつけるため、シルバー事業としての参入について協議検討を行っていく。

シルバー事業を推進するにあたっては、平成28年9月に厚生労働省から示された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づいた適正な事業運営の推進を図っていく。

これらのほか、地域や他団体等との連携、活動拠点の整備、会員互助会の活性化などにより施設・会員を取り巻く環境等の整備を行うとともに、理事会・専門部会等の充実、受注金額の拡大による財源確保などにより経営及び事業運営の基盤整備に取り組む。

2 公益目的事業について

当センターは、公益社団法人として、「高年齢者の臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業、及びその他の社会参加活動を推進する事業」を行うことにより、高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として、以下の公益目的事業を

実施する。

(1) 請負業務に係る就業機会の提供（雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務）

ア 高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高年齢者にふさわしい地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これを高年齢者に対して、その能力、希望等に応じて請負又は委任という形式により提供する。

イ 独自事業の充実・拡大により、高年齢者の社会参加を促すとともに、一部事業においては、エコ活動を展開することにより社会貢献へ取り組む。

(ア) 自転車再生事業、衣類リフォーム事業、リサイクルショップ事業など

(イ) 文化教室事業

(2) 派遣業務等に係る就業機会の提供（雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務等）

ア 労働者派遣事業

あらかじめ登録した高年齢者のうち、派遣労働を希望する高年齢者を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき実施する。

イ 職業紹介事業

仕事の求人を受け付け、これをそのような仕事を希望する高年齢者に紹介する事業であり、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき実施する。

(3) 研修計画（就業に必要な知識及び技能を付与するための講習）

地域に適した仕事が存在しても必要な能力を有していなければ就業に結びつかないので、必要な技能・知識を付与することにより就業に結びつけ、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行うことにより、高年齢者の生きがいの充実と福祉の向上を図り活力ある地域社会づくりに寄与する。

ア 技能（スキルアップ）研修の実施

植木スクール、刈払機取扱講習会、筆耕研修、ベビーシッター研修、安全運転研修など

イ 市民サービス向上のための研修の実施

- 駐輪場接遇研修、福祉・家事援助初級研修など
- ウ 会員の資質の向上を目指した研修の実施
 - 新人研修（シルバー事業の理解など）など
- エ 各種会議・研修会等への会員・職員の出席

(4) その他の活動（上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動、及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動）

ア シルバー事業の活性化の推進

シルバー事業に係る諸課題を踏まえ、会員の確保、就業の拡大等、基本計画に掲げる事項に対する具体的な施策を検討し、その実現に向けて会員・組織をあげて取り組み、シルバー事業の活性化を推進する。

(ア) シルバー活性化検討会議（仮称）の設置

(イ) 先進都市シルバー人材センターの視察調査

イ 普及啓発

シルバー事業への信頼と理解が得られるよう、広く市民、事業所、官公庁に対し、本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等の周知とともに、高齢者自身のシルバー事業に対する意識啓発を実施する。

特に、団塊世代・女性会員の加入の促進を図る。

(ア) 会員一人ひとりが広告塔としての活動の展開

(イ) シルバー活性化検討会議（仮称）の開催（女性会員拡大等）

(ウ) イメージ・認知度アップ施策の展開（キャッチフレーズ・愛称の募集等）

(エ) 広島駅南口地下広場マルチビジョンを使つてのPR

(オ) 無料情報誌「はた楽」の発行

(カ) 広島市等が実施するイベントへの参加

ウ 安全・適正就業の推進

高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を実施する。

(ア) 安全意識の醸成にかかる事業の実施（安全就業強化月間、安全標語・ヒヤリハット体験記の募集など）

(イ) 自動車運転業務拡充のための安全運転研修の実施

(ウ) 安全・適正就業に係る現場巡回

(エ) 「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づく周知・徹底

(オ) 就業機会の公平化の徹底

エ 就業分野の開拓・拡大

地域の事業所、官公庁等を訪問・面談し、高年齢者にふさわしい仕事を積極的に開拓するとともに、高年齢者の職業能力や経験を把握分析し、地域のニーズに対応する仕事の提案などを行う。

(ア) 就業開拓の推進（就業開拓員による事業所等訪問など）

(イ) 親孝行サービスの実施

(ウ) 空き家管理サービスの実施

(エ) その他新規事業の拡大検討

オ 相談、情報提供

入会を希望する高年齢者を対象に入会の方法について説明し、高年齢者からの相談に対応するほか、各種相談、情報提供を一般市民や高年齢者に対し実施する。

(ア) 随時入会の実施に伴う入会方法の説明

(イ) 広島市シニア応援センターと連携した入会方法の説明

(ウ) 未就業相談会の実施

カ ボランティア活動等の社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高年齢者を対象に社会参加活動を実施する。

(ア) 公共施設等の美化活動の実施（シルバーの日ボランティア）

(イ) 通学時等の児童の安全見守り

(ウ) 地域の安全・安心の推進

3 経営及び運営基盤整備

公益目的事業を実施するにあたり、経営及び運営基盤の整備をする。

(1) 会員の経験及び知識・能力等を活用した運営

事業及び会議等への会員参加の促進

(2) 理事会の充実

ア 理事会専門部会の活性化

イ 役員と各種リーダーとの連携強化による会員活動の活性化

(3) 広島市、広島県、広島県シルバー人材センター連合会、他団体等との連携

(4) 財源の確保

ア 補助金等の確保

イ 自主財源の確保

平成29年度 研修会等実施計画表

研 修 科 目	実 施 予 定 時 期	委 託 先 又は講師	参加予定 会員数
新 人 研 修 (4 か 所)	平成29年4月～ 平成30年3月 (年48回)	事務局	600名
健 康 管 理 講 習 会	平成30年 1月	広島市職員	30名
安 全 講 習 会 (4 か 所)	平成30年 1月	広島市職員	120名
安 全 運 転 講 習	平成29年 5月、9月 平成30年 1月	市内 自動車学校	48名
筆 耕 研 修	平成29年10月	会 員	20名
筆 耕 年 賀 は が き 研 修	平成29年11月	会 員	20名
筆 耕 卒 業 証 書 研 修	平成30年 1月	会 員	15名
駐 輪 場 就 業 会 員 接 遇 研 修	平成30年 2月	事務局	200名
福 祉 ・ 家 事 援 助 初 級 研 修	平成29年4月～ 平成30年3月 (年12回)	事務局	各20名
介 護 研 修	平成29年10月	未 定	30名
調 理 研 修	平成29年11月、12月 平成30年 1月	未 定	各20名
ベ ビ ー シ ッ タ ー 研 修	平成29年 7月	未 定	50名
植 木 ス ク ー ル	平成29年5月～7月 及び9月～10月	樹木医	20名
剪 定 班 フ ォ ロ ー ア ッ プ 研 修	平成29年4月	樹木医	100名